

報告第16号

一般財団法人つくば市国際交流協会の経営状況を説明する書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定に基づき、次のとおり提出する。

平成29年8月29日

つくば市長 五十嵐立青

平成 28 年度事業報告

自：平成 28 年 4 月 1 日

至：平成 29 年 3 月 31 日

一般財団法人つくば市国際交流協会

1. 一般的事項

(1) 組織及び人員

一般財団法人つくば市国際交流協会の組織は、総務課があり、平成 28 年度における役員及び職員等の数は以下のとおりとなっている。

役員		職員	
理事長(非常勤)	1	事務局長(常務理事兼務)	1
常務理事	1	総務課	2
理事(非常勤)	8	総務課(臨時職員)	2
監事(非常勤)	2	外国人相談員	4
		印紙証紙売りさばき所	3
計	12		12

(2) 評議員会

第 1 回評議員会(平成 28 年 6 月 14 日)

- (イ) 平成 27 年度事業報告及び計算書類について承認
- (ロ) 評議員の選任について承認
- (ハ) 理事の選任について承認
- (ニ) 監事の選任について承認

(3) 理事会

第 1 回理事会(平成 28 年 5 月 24 日)

- (イ) 平成 27 年度事業報告及び計算書類について承認
- (ロ) 評議員会招集について承認

臨時理事会(平成 28 年 6 月 14 日)

- (イ) 理事長の選任について承認
- (ロ) 常務理事の選任について承認
- (ハ) 事務局長の任命について承認

第 2 回理事会(平成 28 年 9 月 29 日)

- (イ) 平成 28 年度事業進捗状況及び課題について協議
- (ロ) 平成 29 年度事業計画策定に向けて協議
- (ハ) 理事長及び常務理事による職務執行状況の報告

第 3 回理事会(平成 29 年 3 月 3 日)

- (イ) 平成 28 年度収支補正予算について承認
- (ロ) 平成 29 年度事業計画及び収支予算について承認

- (ハ)借入金最高限度額の承認について承認
- (ニ)賛助会員規約改定について承認
- (ホ)理事長及び常務理事による職務執行状況について報告

2. 事業概要

平成28年度つくば市国際交流協会事業一覧

国際交流事業

A つくば市内国際交流活動	
1 外国人生活支援のための活動(対象:外国人)	
① 日本語講座<カピオ・インフォメクラス>, 課外活動	
② 医療通訳ボランティア派遣	
③ メディカル英会話講座(新規)	
④ 外国人のための相談室	
⑤ 外国人教育支援(高校進学相談会)	
2 ボランティア育成・派遣事業(対象:日本人)	
① 日本語講師育成支援	
② 医療通訳ボランティア養成・研修	
③ 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介派遣	
④ 英語観光ガイドボランティア養成	
3 交流イベントの開催(対象:日本人・外国人)	
① 交流会(文化紹介・日本語発表・サポーター交流)	
② 英語スピーチ・プレゼンテーション大会	
③ シティ・チャット・カフェ	
④ フェスティバル事業	
⑤ 料理教室	
⑥ 外国語講座<スペイン語・中国語>	
B 海外との交流活動(対象:日本人・外国人)	
1 姉妹・友好都市等交流事業	
C 協会の基盤拡充, 広報, 情報収集と提供(対象:外国人・日本人)	
1 国際交流協会ニーズ調査	
① 外国人・日本人ニーズ調査(こども日本語講座調査検討, 座談会)	
2 HP, facebook, ラジオ, ニュースレター等による情報収集・周知活動	
① ホームページ・facebook	
② ニュースレター発行	
3 他団体との協働・連携	
① イベント支援(後援名義)	
4 サポーター募集(ボランティア, 賛助会員)	
旅券発給支援事業	
D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人)	

基本方針

多様な国際交流や国際的な相互理解に基づく多文化共生を推進する事により、国際感覚にあふれた人材の育成と国際拠点都市つくばに相応しい世界に開かれた地域社会の創造に寄与する。

A つくば市内国際交流活動

1 外国人生活支援のための活動

① 日本語講座

【概要】

つくば市に在住する外国人を対象に、日常生活に必要な日本語の習得を目的として実施した。日本語ボランティア講師(TIVONAの会)に講師をお願いした。また、日本語指導者のための研修会を行った。

【実績】

(イ)クラス:全 9 クラス(日本語 1～3・読み書き・日本語の会)

期間:前期(4月～9月), 後期(10月～3月)

場所:つくばカピオ, つくばイノベーションプラザ

受講者数及び講師数:

	受講者	講師
前期	120 名	28 名
後期	136 名	27 名
合計	256 名	55 名

(ロ)日本語講座指導者研修会

期日:平成 29 年 2 月 25 日

講師:一橋大学准教授 柳田 直美 氏

タイトル:「やさしい日本語」を使う

参加者:29 名

②医療通訳ボランティア派遣

【概要】

外国人が受診する際に、医療機関の依頼にもとづいて派遣した。

【実績】

筑波大学附属病院, 筑波メディカルセンター病院など 9 医院 33 回(うちキャンセル 4 件)

③メディカル英会話講座

【概要】

医療従事者を対象に外国人が病院受診で必要になる受付・問診票の記入・医師の診察・支払いや保険の説明・次回の予約についての英語講座を行った。

【実績】

内容	受講者
内科・小児科	38 名
皮膚科	13 名
眼科	18 名
産婦人科	28 名
歯科	42 名
薬の処方	32 名
合計	171 名

④外国人のための相談室**【概要】**

つくば市に在住・在勤・在学する外国人を対象として、在留資格・婚姻・行政手続き等の相談に対して、外国人生活相談員4名（英語2名／中国語2名）を配置し、相談業務をおこなっている。

【実績】

相談者数:53 名 74 件対応(英語 41 件, 中国語 26 件, 日本語 7 件)

相談内容:就学・教育, 子育て, 健康保険・年金, 就労・雇用, 健康・医療など。

⑤高校進学なんでもガイダンス！**【概要】**

外国人を対象に、高校進学に関する疑問や質問を受け付け、高校を知る機会とすることを目的として開催した。

【実績】

期日:7 月 16 日

場所:つくば市役所 202 会議室

参加者:15 名, 通訳 5 名, 講師 5 名, イベント補助 2 名

2 ボランティア育成・派遣事業**①日本語講師育成支援****【概要】**

当協会の日本語講座で講師として活動できる方に日本語指導について学ぶための日本語ボランティア講師入門講座を開催した。

【実績】

期日:1 月 21 日, 28 日, 29 日, 2 月 4 日, 5 日

講師:川辺千恵子氏, 清水晃氏, 田口正志氏

受講者 23 名。うち 5 名が平成 29 年 4 月から講師として活動を開始した。

②医療通訳ボランティア養成・研修**【概要】**

医療機関において、外国人患者が母語で診察を受ける事ができるように、言語のサポートを行う人材を育成するため、医療通訳ボランティア養成講座を開催した。

【実績】

期日:10月1日,9日,23日

場所:つくば市役所 201 会議室ほか

参加者:一般コース 21 名,通訳コース 33 名

通訳コース合格者 2 名(スペイン語 1 名,ポルトガル語 1 名)

【内容】

10月1日(一般コース,通訳コース)

内 容	講師等
協会医療通訳ボランティア制度紹介	つくば市国際交流協会 丸山はるか
講演「医療通訳とは～基礎的な医療知識」	茨城県立こども病院副院長 連 利博 氏
通常の対面医療通訳デモンストレーション	医師役:連 利博 氏 通訳役:医療通訳ボランティア 中嶋 氏 患者役:トヨナガ ルジア 氏
遠隔医療通訳システムデモンストレーション	㈱東和エンジニアリング
パネルディスカッション 「医療通訳に携わる各アクターによる外国人患者への対応の現状と展望」	進行:連 利博 氏 パネラー:トヨナガ ルジア 氏(患者代表) 筑波メディカルセンター病院 医療福祉相談課 中川 広子 氏 医療福祉相談課 中山 寛子 氏 看護師 橋本 麻美 氏 医療通訳ボランティア 中嶋 ひろ 氏 つくば市国際交流協会 中村 貴之

10月9日(通訳コースのみ)

内 容	講 師
つくば市の多文化共生施策について	つくば市企画部企画・国際課 国際室長 柳田 茂秀 氏
通訳の心構えと自己管理 通訳技術の基礎知識	特定非営利活動法人多言語社会リソースか ながわ 森田 直美 氏
ロールプレイ	英語担当 上堂蘭 アン 氏 中国語担当 刀 克 氏・松永 悠 氏 スペイン語担当 岩崎 克司 氏 ポルトガル語担当 中嶋 ひろ 氏

10月23日(通訳コースのみ)

内 容	講 師
ロールプレイ	英語担当 上堂蘭 アン氏 中国語担当 刀 克 氏・松永 悠 氏
選考試験	スペイン語担当 岩崎 克司 氏 ポルトガル語担当 中嶋 ひろ 氏

③ 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介派遣

【概要】

各ボランティアを依頼にもとづいて派遣し、国際交流や多文化共生の推進に寄与した。

【実績】

通訳: 7件 42 名 (つくばフェスティバル, まつりつくば, JUNTOS 高校進学ガイダンス, 吾妻交流センター料理教室, つくば市社会福祉課での生活保護受給手続き, つくばカピオバックステージツアー, G7)

翻訳: 7件 (ライフプランすこやか 2016 版 (つくば市, 英語・中国語), 自治会案内文 (アラビア語), ショップガイド, 観光鉄道, つくばフェスティバルリーフレット翻訳, つくばフェスティバル看板翻訳, JUNTOS 翻訳)

ホームステイ: 5 件 10 世帯 (筑波大学経済・公共政策プログラム, 筑波大学 TAG, 筑波大学学生交流課, つくば市企画部企画・国際課)

文化紹介 4 件

吉沼小学校: 国際理解教室 (世界の遊び紹介) (1~6年生)

松代幼稚園, 手代木南幼稚園, 桜幼稚園, 二の宮保育所: サンタ派遣

吾妻小学校: まち探検対応 (2 年生)

④ 英語観光ガイドボランティア講座

【概要】

つくば市に毎年多くやってくる外国人のためのタウンガイドや東京オリンピックを見据えた観光ガイドボランティアができる人材を養成するために 3 回目の講座を開講した。

【実績】

期日: 7 月~8 月 (全 6 回)

場所: つくばイノベーションプラザ 大会議室ほか

受講者: 46 名

講座後実習: 7 回開催 (田植え, まつりつくば, 稲刈り, センタービル周辺散策, ジオツアー, 筑波山神社, 梅まつり)

4 交流イベントの開催

① Bivi 講座「世界お茶のみ話」(交流会)

【概要】

当初は「日本語であそぼう」を予定していたが、有効な事業成果を得る事が難しいと考え、事業内容を変更し、平成 29 年度から開催している Bivi 講座「世界お

茶のみ話」のプレ講座として2回開催した。

「日本語であそぼう」は、主に外国人に対して日本文化を紹介し国際理解を深めるという内容だったが、外国人への周知が進まず出展者が中心に交流するというような状況だった。Bivi 講座「世界お茶のみ話」は、主に講演者の母国の紹介、または、外国人の支援などを行う方々の活動を紹介し、聴講者も含めて話し合える講座になるよう工夫することで、新たな交流を創出することを目的として行う。

【実績】

期日	国	講師	参加者
平成 29 年 2 月 18 日	ケニア	Hesborn Ondiba	35 名
平成 29 年 3 月 18 日	台湾	Yu-Fan Ryu	19 名

② 英語スピーチ・プレゼンテーション大会

【概要】

英語をより身近なものとして関心を持ち、更なる英語力の向上と、将来、つくば市や周辺市町村に在住する外国人に対して、英語を使ってコミュニケーションができる人材を育てる機会の提供と語学学習者が、練習の成果を発表する場とすることを目的として開催した。

【実績】

期日:12 月 3 日, 4 日

対象:市内中学校・高校 英語初心者

参加者:スピーチの部(20 組 30 名), プレゼンテーションの部(10 組 13 名)
(市内 11 中学校)

発表テーマ:「つくばの楽しみ方」「つくばにあったらいいもの」「国際交流から想像する事」「つくばの防災」「つくばの歴史・文化」などつくばに関する事

発表時間:スピーチの部 3 分以内, プレゼンテーションの部 6 分間(うち 2 分間は質疑応答)

審査員:筑波大学体育系 教授 ランディープ ラクワール

筑波大学体育系 教授 レイラス アレクシス

筑波大学生命環境系 助教 マシュー クリストファー ウッド

筑波大学人文社会系 教授 宮本陽一郎

つくばインターナショナルスクール教師 アンディー ヘイズ

審査方法:英語の優劣で順位を付けるのではなく、何が良かったのかを評価して賞を決定した。大会後、審査員から実力アップのためのアドバイスやコメントを発表者に送った。

共催:筑波大学グローバル・コモンズ機構

協力:筑波大学留学生 17 名, 筑波研究学園都市交流協議会

③シティ・チャット・カフェ

【概要】

筑波大学・筑協・協会の3者共催事業として、毎月1回実施している。LALAガーデンつくばを会場として、筑波大学留学生10名程度が毎回コーディネーターとして関わっている。

【実績】

シティ・チャット・カフェ:月1回 LaLa ガーデンにて開催。11月及び1月～3月までの4回を協会主催で行った。

参加者:各回50名程度

④フェスティバル事業(国際交流フェア)

【概要】

外国文化の体験(団体活動紹介, 民芸品展示・販売, 各国の料理販売)を通して, 異文化の理解や交流を目的として開催した。

【実績】

期日:平成28年6月4日, 5日

テント出展:24団体

ステージ発表:11団体(下記一覧)

	演目	団体
1	スクエアダンス	つくばインターナショナルスクール
2	ストリングス(弦楽器)演奏	つくばインターナショナルスクール
3	朝鮮の歌や踊り	茨城朝鮮初中高級学校
4	インドネシアのダンス	在日インドネシア留学生協会茨城支部
5	パラグアイの音楽とパラグアイアルパの紹介	Nelson Suzuki
6	アフリカン太鼓のジャンベやサバール演奏	シーディ・ファイ × Group Jamm
7	歌(韓流ドラマや日本の童謡, アカペラ)	KOREA 文化交流協会, 花蓮, Loyal Owls
8	多国籍の子どもたちによる歌やダンス	Liberty International School
9	エチオピアの民族舞踊	モカ・エチオピア・ダンスグループ
10	ブラジル人学校生徒によるダンス	INSTITUTO・EDUCARE
11	合唱曲やデュエット	JOY

その他:エンジョイ・ザ・ワールド出展:2団体

筑波大学ナマステつくば(インド), 筑波大学 TAG(東南アジア)

来場者:14万人(主催者発表)

⑤料理教室

【概要】

料理を入口にした, 世界各国への興味の醸成を目的として開催した。試食に合わせて外国文化等の紹介も実施した。

【実績】

期日	料理	参加者	メニュー
7月30日	フランス料理	24名	ナスのキャヴィアとかもの胸肉、ジャガイモとニンジン、ソーテー、オリーブと鶏肉のクリーム煮、塩バターキャラメル、リンゴタルト
2月11日	日本料理	13名(外国人)	筑前煮、ぶりの柚子香照焼き、白和え

場所:並木交流センター(7月30日)、吾妻交流センター(2月11日)

⑥外国語講座＜スペイン語・中国語＞

【概要】

世界的に使用人口が多い言語の入口として年3季(1季につき3ヶ月、10回講座)実施。

【実績】

スペイン語

レベル	春季	秋季	冬季
入門	3	-	3
初級	10	-	13
合計	13	12	16

※秋季は、入門、初級それぞれは定員割のため合同クラスで開催

中国語

レベル	春季	秋季	冬季
入門	11	10	0
初級	12	8	7
合計	23	18	7

スペイン語、中国語講座については、市民のサークル活動または学習塾などが充実してきたため、当初の役割は終了したものと考え、平成28年度で終了することとした。

B 海外との交流活動

1. 姉妹・友好都市等交流事業

【概要】

韓国大田広域市はつくば市と同様の研究開発が盛んな都市であることから、韓国における研究開発の一端を知るとともに、文化体験やホームステイなどを通して、未来を担う両国の青少年達が、お互いの考えや価値観を知り・理解して、将来に両国の懸け橋となることを目的に実施した。

【実績】

期日:平成28年12月26日～29日(3泊4日)

場所:韓国大田広域市へ訪問

参加者:市内中学生15名(ほか1名は病気のため不参加)

引率者:協会理事(団長):布浦万代氏、協会職員:中村貴之

C 協会の基盤拡充, 広報, 情報収集と提供

1 国際交流協会ニーズ調査

①外国人・日本人ニーズ調査

(イ)座談会

【概要】

国際交流協会へのニーズや希望などを調査するために, 国別に意見を伺う機会を向け, 今後の事業展開の資料とすることを目的として開催した。

【実績】

期日	国	参加者	内容
8 月 29 日	ベトナム	筑波学院大学への留学生	学校生活やつくばでの生活など
2 月 28 日	韓国	小学校児童を持つ親, 大学生など	学校教育や生活, 日本語など

(ロ)こども日本語講座調査検討

【概要】

近年, つくばでも増加している, こどもに対する日本語指導の必要性や先進実 施団体の調査のため講演会や支援会議に参加した。

【実績】

期日	場所	内容
8 月 20 日	横浜市いちょう小学校	日本語指導の必要性について
1 月 8 日	筑波学院大学	関東圏内高校進学ガイダンス担当者会議
1 月 31 日	弁護士会館	外国人相談担当者会議(外国由来のこども達の支援について)

2 ホームページ, facebook, ラジオ, ニュースレター等による情報収集・周知活動

①ホームページ・facebook

【実績】

イベント案内, 報告, 後援団体の情報を随時掲載した。

② ニュースレター

【実績】

平成 28 年 7 月に第 4 号, 平成 29 年 3 月に第 5 号を発行した。

3 他団体との協働・連携

① 国際交流イベント支援

後援事業

期日	イベント名	場所	主催
9月20日	台湾文化ウィーク	Bivi つくば, 筑波大学附属図書館, つくばイノベーションプラザ	筑波大学
11月9日	筑波学院大学国際セミナー	筑波学院大学	筑波学院大学
2月12日	滝夜叉姫伝説	ホテルグランド東雲	スマイルアップ推進委員会
2月18日	多様化が進む日本を考えてみよう - 映画「FAFU」上映会 -	筑波大学スチューデント・コモンズ	筑波大学社会貢献プロジェクト

イベント出展

期日	イベント名	場所	主催
1月17日	ボランティアフェスタ	イーアスつくば	つくば市社会福祉協議会

筑波学院大学(オフ・キャンパス・プログラム)受入れ

期日	氏名(国)	国	所属	内容
2月28日	ファン・チー・ズエン, ファム・チー・ホング・アン	ベトナム	筑波学院大学	座談会コーディネーター及び報告書作成

つくばワールドフットサル 2016

【概要】

スポーツによる国際交流を図るため、つくば市他様々な団体で実行委員会を組織し実施した。協会は、イベント内の食販ブースの運営を主として実施した。協会に登録のある外国人を中心に募集し参加者を募った。

【実績】

実施名:つくばワールドフットサル 2016

期日:11月26日

場所:鹿島アントラーズつくば つくばアカデミーセンター

参加者:443名(内外国人21か国86名)

4 賛助会員

【概要】

協会自主財源になるため、多くの入会が求められるが年々減少傾向にある。事業協賛や法人会員の増加を図ることが必要。

【実績】

個人会員:96 人 145 口, 団体会員:4 団体 4 口, 法人会員:10 法人 10 口
賛助会会費計:530,000 円

D 旅券発給支援に関する事業

【実績】

パスポート用印紙・証紙セット販売及び写真撮影の比較

年度	10 年	5 年	12 歳未満	写真(件)
H25	4,448	2,638	980	3,192
H26	4,493	2,461	1,147	3,561
H27	4,738	2,500	1,212	3,838
H28	5,583	2,609	1,263	4,417

パスポート申請用印紙・証紙セットの購入数が増加している。市役所内にて印紙・証紙・切手等の小売りも行っている旨周知するなどした。安定的な自主財源を確保するため、パスポート申請用以外での購入を周知し収入増を継続したい。

平成 28 年度決算報告書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

一般財団法人つくば市国際交流協会

貸借対照表

平成29年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	14,269,556	12,134,111	2,135,445
未収金	95,251	180,806	△ 85,555
棚卸資産	9,110,866	9,638,324	△ 527,458
前払費用	231,169	174,126	57,043
流動資産合計	23,706,842	22,127,367	1,579,475
2. 固定資産			
基本財産			
投資有価証券	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	26,706,842	25,127,367	1,579,475
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	7,000,000	8,000,000	△ 1,000,000
未払金	2,500,070	3,952,713	△ 1,452,643
前受金	323,800	135,000	188,800
預り金	612,346	619,301	△ 6,955
流動負債合計	10,436,216	12,707,014	△ 2,270,798
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,446,000	1,154,000	292,000
固定負債合計	1,446,000	1,154,000	292,000
負債合計	11,882,216	13,861,014	△ 1,978,798
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	(0)
2. 一般正味財産			
その他一般正味財産	11,824,626	8,266,353	3,558,273
一般正味財産合計	11,824,626	8,266,353	3,558,273
正味財産合計	14,824,626	11,266,353	3,558,273
負債及び正味財産合計	26,706,842	25,127,367	1,579,475

正味財産増減計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5,082	6,000	△ 918
基本財産受取利息	5,082	6,000	△ 918
受取会費	530,000	518,000	12,000
賛助会員受取会費	530,000	518,000	12,000
事業収益	146,328,428	125,768,277	20,560,151
旅券発給支援に関する事業収益	146,328,428	125,768,277	20,560,151
受取補助金等	32,704,148	31,679,648	1,024,500
受取地方公共団体補助金	32,704,148	31,679,648	1,024,500
受取負担金	4,329,581	3,557,724	771,857
受取負担金	4,329,581	3,557,724	771,857
受取寄付金	0	3,000	△ 3,000
受取寄付金	0	3,000	△ 3,000
雑収益	238	7,700	△ 7,462
受取利息	238	4,460	△ 4,222
雑収益	0	3,240	△ 3,240
経常収益計	183,897,477	161,540,349	22,357,128
(2) 経常費用			
事業費	166,115,812	145,645,021	20,470,791
国際交流事業費	22,810,337	22,777,649	32,688
国際交流人件費(職員・臨時職員)	14,342,041	15,009,753	△ 667,712
国際交流事業費	8,468,296	7,767,896	700,400
旅券発給支援に関する事業費	143,305,475	122,867,372	20,438,103
管理費	14,223,392	13,315,587	907,805
人件費	8,751,950	7,334,846	1,417,104
本部運営費	5,471,442	5,980,741	△ 509,299
経常費用計	180,339,204	158,960,608	21,378,596
評価損益等調整前当期経常増減額	3,558,273	2,579,741	978,532
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	3,558,273	2,579,741	978,532
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	3,558,273	2,579,741	978,532
一般正味財産期首残高	8,266,353	5,686,612	2,579,741
一般正味財産期末残高	11,824,626	8,266,353	3,558,273
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	14,824,626	11,266,353	3,558,273

正味財産増減計算書内訳表

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業	収益事業	法人会計	内部取引 消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	0	0	5,082	0	5,082
基本財産受取利息	0	0	5,082	0	5,082
受取会費	0	0	530,000	0	530,000
賛助会員受取会費	0	0	530,000	0	530,000
事業収益	0	146,328,428	0	0	146,328,428
旅券発給支援に関する事業収益	0	146,328,428	0	0	146,328,428
受取補助金等	18,875,363	0	13,828,785	0	32,704,148
受取地方公共団体補助金	18,875,363	0	13,828,785	0	32,704,148
受取負担金	3,934,974	0	394,607	0	4,329,581
受取負担金	3,934,974	0	394,607	0	4,329,581
雑収益	0	49	189	0	238
受取利息	0	49	189	0	238
経常収益計	22,810,337	146,328,477	14,758,663	0	183,897,477
(2) 経常費用					
事業費	22,810,337	143,305,475	0	0	166,115,812
国際交流事業費	22,810,337	0	0	0	22,810,337
国際交流人件費(職員・臨時職員)	14,342,041	0	0	0	14,342,041
国際交流事業費	8,468,296	0	0	0	8,468,296
旅券発給支援に関する事業費	0	143,305,475	0	0	143,305,475
管理費	0	0	14,223,392	0	14,223,392
人件費	0	0	8,751,950	0	8,751,950
本部運営費	0	0	5,471,442	0	5,471,442
経常費用計	22,810,337	143,305,475	14,223,392	0	180,339,204
評価損益等調整前当期経常増減額	0	3,023,002	535,271	0	3,558,273
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	3,023,002	535,271	0	3,558,273
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	419,694	0	△ 419,694	0	0
当期一般正味財産増減額	419,694	3,023,002	115,577	0	3,558,273
一般正味財産期首残高	△ 419,694	5,719,866	2,966,181	0	8,266,353
一般正味財産期末残高	0	8,742,868	3,081,758	0	11,824,626
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	3,000,000	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	3,000,000	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	0	8,742,868	6,081,758	0	14,824,626

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・購入時の取得価額によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職金の支給に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
小 計	0	0	0	0
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	3,000,000	(3,000,000)	(-)	—
小 計	3,000,000	(3,000,000)	(-)	—
特定資産				
小 計	0	(-)	(-)	(-)
合 計	3,000,000	(3,000,000)	(-)	(-)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
地方債			
平成25年度第2回大好きいばらき県民債	3,000,000	—	—
合 計	3,000,000	—	—

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高は、次のとおりである。(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
一般財団法人つくば市国際交流協会補助金	つくば市	—	32,704,148	32,704,148	—	—
合 計		—	32,704,148	32,704,148	—	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	3,000,000	-	-	3,000,000
	基本財産計	3,000,000	-	-	3,000,000
特定資産					
	特定資産計	-	-	-	-

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,154,000	292,000	0	0	1,446,000

財産目録

平成29年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	460,158
	預金	普通預金	運転資金として	13,809,398
		常陽銀行	公益事業の運転資金として	3,603,826
		常陽銀行	旅券発給支援事業の運転資金として	6,705,032
		常陽銀行	管理事業の運転資金として	1,111,394
		常陽銀行	預り金用として	943,114
		常陽銀行	退職給付引当金用として	1,446,032
	未収金		3月分売りさばき手数料他	95,251
	棚卸資産		印紙・証紙在庫	9,110,866
	前払費用		4月分借入金利息ほか	231,169
流動資産合計				23,706,842
(固定資産)				
基本財産				
	投資有価証券	大好きいばらき 県民債	基本財産運用益はつくば市国際交流 協会事業の財源として使用	3,000,000
固定資産合計				3,000,000
資産合計				26,706,842
(流動負債)				
	短期借入金	常陽銀行	旅券旅券発給支援事業の運転資金として	7,000,000
	未払金	つくば市、他	補助金返還金、3月分賃金ほか	2,500,070
	前受金		講座受講料ほか	323,800
	預り金			612,346
	源泉所得税		源泉所得税	49,249
	ほか所得税		職員、臨時職員分	106,164
	源泉市県民税		源泉市県民税	212,100
	社会保険		職員、臨時職員分	164,233
	駐車場代		駐車場代として	80,600
流動負債合計				10,436,216
(固定負債)				
	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	1,446,000
固定負債合計				1,446,000
負債合計				11,882,216
正味財産				14,824,626

収支計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	5,000	5,082	△ 82
基本財産利息収入	5,000	5,082	△ 82
会費収入	970,000	530,000	440,000
賛助会員会費収入	970,000	530,000	440,000
事業収入	144,760,000	146,328,428	△ 1,568,428
旅券発給支援に関する事業収入	144,760,000	146,328,428	△ 1,568,428
補助金等収入	34,000,000	32,704,148	1,295,852
地方公共団体補助金収入	34,000,000	32,704,148	1,295,852
負担金収入	4,483,000	4,329,581	153,419
受取負担金収入	4,483,000	4,329,581	153,419
雑収入	16,000	238	15,762
受取利息収入	6,000	238	5,762
雑収入	10,000	0	10,000
他会計からの繰入金収入	0	419,694	△ 419,694
事業活動収入計	184,234,000	184,317,171	△ 83,171
2. 事業活動支出			
事業費支出	166,646,000	165,895,812	750,188
国際交流事業費支出	24,609,000	22,590,337	2,018,663
国際交流人件費支出(職員・臨時職員)	14,565,000	14,342,041	222,959
国際交流事業費支出	10,044,000	8,248,296	1,795,704
旅券発給支援に関する事業費支出	142,037,000	143,305,475	△ 1,268,475
管理費支出	14,325,000	14,151,392	173,608
人件費支出	8,459,000	8,679,950	△ 220,950
本部運営費支出	5,866,000	5,471,442	394,558
他会計への繰入金支出	0	419,694	△ 419,694
事業活動支出計	180,971,000	180,466,898	504,102
事業活動収支差額	3,263,000	3,850,273	△ 587,273
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	292,000	0	292,000
退職給付引当資産取得支出	292,000	0	292,000
投資活動支出計	292,000	0	292,000
投資活動収支差額	△ 292,000	0	△ 292,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
借入金返済支出	1,000,000	1,000,000	0
短期借入金返済支出	1,000,000	1,000,000	0
財務活動支出計	1,000,000	1,000,000	0
財務活動収支差額	△ 1,000,000	△ 1,000,000	0
当期収支差額	1,971,000	2,850,273	△ 879,273
前期繰越収支差額	17,420,000	17,420,353	△ 353
次期繰越収支差額	19,391,000	20,270,626	△ 879,626

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、棚卸資産、前払費用、未払金、前受金及び預り金を含めている。
 なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	12,134,111	14,269,556
未 収 金	180,806	95,251
棚 卸 資 産	9,638,324	9,110,866
前 払 費 用	174,126	231,169
合 計	22,127,367	23,706,842
未 払 金	3,952,713	2,500,070
前 受 金	135,000	323,800
預 り 金	619,301	612,346
合 計	4,707,014	3,436,216
次期繰越収支差額	17,420,353	20,270,626

平成 29 年度事業計画

自:平成 29 年 4 月 1 日

至:平成 30 年 3 月 31 日

一般財団法人つくば市国際交流協会

平成 29 年度事業計画

つくば市国際交流協会は、平成 25 年(2013 年)2 月に一般財団法人として設立され、同年 4 月から業務を開始し 4 年が経過しようとしています。

平成 29 年(2017 年)2 月 1 日現在、つくば市には 139 カ国 8,833 名の外国人が居住しており、昨年の同時期に比べて 811 名増加しました。その多くは、留学生、研究員、会社員及びその家族、研修生、日本人の配偶者などと考えられますが、在留資格は多岐にわたります。

平成 28 年 5 月には、G7 茨城・つくば科学技術大臣会合が行われ、日本の最先端科学技術を世界に紹介しました。更に、同年 9 月には、平成 32 年度までの「つくば市グローバル化基本指針」が策定され、「多文化共生社会が実現するまち」、「国際連携により、世界に羽ばたき、つながるまち」、「グローバルな魅力の発信により、人や投資が集うまち」の 3 つの基本施策を実施するにあたり、当協会もつくば市と連携するよう求められています。

平成 28 年度、つくば市国際交流協会では、協会活動をより広範囲へ周知するため、機関誌 Link 第 4 号の区会回覧及び第 5 号の発行を行ったほか、ホームページや facebook にて、事業紹介を積極的に行いました。

外国人の意見やニーズは、国や生活環境によっても違うため、広く聴くことが重要です。平成 28 年度はベトナム、韓国を対象に座談会を開催しました。参加者からは、文化・習慣の違いに戸惑いを感じるがあること、夜の道が暗く怖いことなどの意見がありました。また、外国にルーツを持つ小中学校の児童生徒及び保護者に対して高校進学相談会を開催したところ、在籍する学校では把握できていないような、日本語指導が必要な児童の存在を確認し、関係部署と連携しながらフォローアップしました。更に、関東各地で外国人児童生徒の支援を行っている団体との交流の中で、つくばにも共通する様々な類似の事例や課題があることもわかりました。これらの結果からも、外国人への支援の方法を様々な視点から考え、連携・実行していく必要があります。

「つくば市グローバル化基本指針」及び 4 年間の活動を踏まえ、平成 29 年度は、通常の事業に加え新たな重点目標を以下の様に定めます。

1 外国人への生活支援の充実に取り組みます

病院やクリニックなど医療機関において、外国人患者が安心して母語で受診できるようにすることは、日常生活において欠かすことのできないものです。中核病院だけでなく医師会などを通じて、地域の医院・クリニックなどに対して医療通訳ボランティア派遣制度を積極的に周知するとともに、ボランティアの通訳レベルの向上、対応言語の

充実についても検討して参ります。

つくば市や周辺地域自治体及び国際交流協会などと連携し、長年の懸案事項でもある、病院と協会との間で医療通訳ボランティア派遣に関する協定の締結に向けた具体的な検討に取り組みます。

2 日本語指導学習機会の充実に取り組みます。

外国人が日本で支障なく生活できるように日本語を習得することは重要です。特に小中学生に対する日本語教育については、生活のためだけでなく学習面における日本語を学ぶ必要があるため、教育委員会、大学、つくば市などの関係機関と連携し、新たに指導者の育成・研修など実践的な検討に取り組みます。

また、日本の学校制度、特に高校進学は外国人家庭にとってわかりにくいことも多く、早くから制度や費用、学校生活などについて知り、準備する必要があるため、高校進学ガイダンスを充実させ、昨年に引き続き取り組みます。

将来的には、学習者の居住地周辺において、世代を問わずできるだけ多くの外国人が参加できるよう、日本語学習機会の充実に努めて参ります。

3 市民における国際間感覚の涵養に取り組みます。

国籍を問わず参加できるイベントの開催は、外国人の社会参加に繋げるための重要な取り組みと考えます。また、市民がグローバルな感覚を養い、国際社会への一員として異文化を理解し受け入れられるよう、Bivi つくば交流サロンにて「世界お茶のみ話」と題して、外国人研究者や留学生が母国を紹介する国際理解講座を新たに開催し、文化や習慣、課題などについて聴講者との活発な意見交換を促すことで、国際感覚やコミュニケーション力の向上が図れるよう努めます。

つくば市を拠点に国際交流活動を展開している団体・個人などと連携し、事業の共催または後援などにより、お互いの活動が活発になるよう取り組みます。

国と国との習慣や文化の相互理解を深めるためには、青少年期から外国との交流を体験することが有益だと考えます。平成29年度は、韓国大田広域市から青少年を招き交流事業を行います。

4 協会の中長期目標の策定に取り組みます。

つくば市グローバル化基本指針が策定されたのを受け、当協会としても将来を見据えた活動を行うために、中長期に渡る具体的な施策の策定に取り組みます。

平成29年度つくば市国際交流協会事業一覧

国際交流事業

A 外国人生活支援事業(対象:外国人)	
1	①日本語講座<つくばカピオ・つくばイノベーションプラザクラス> ②日本語ボランティア講師入門講座 ③こども日本語指導者研修会(新規)
2	医療通訳ボランティア育成・派遣
3	外国人のための相談室
4	外国人高校進学相談会
5	メディカル英会話講座
B 文化交流事業(対象:日本人・外国人)	
1	フェスティバル
2	文化交流(Bivi 講座, 日本・外国文化体験など)(新規)
3	姉妹友好都市交流
4	英語スピーチ・プレゼンテーション大会
5	英語観光ガイドボランティア募集・研修
6	通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介ボランティア募集・派遣
7	シティ・チャット・カフェ
C 情報収集・周知・ニーズ調査事業(対象:外国人・日本人)	
1	ホームページ・facebook・Link!発行・ニーズ調査(座談会)
2	賛助会員募集

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人)

※姉妹友好都市交流事業(つくば開催)と医療通訳ボランティア養成講座は年度単位で交互に行う。平成 29 年度は, 姉妹友好都市交流事業(つくば開催)を行う。

平成29年度つくば市国際交流協会事業詳細
国際交流事業

A 外国人生活支援事業(対象:外国人)

1 ①日本語講座<つくばカピオ・つくばイノベーションプラザ>

市内在住外国人を対象に、日常生活に必要な日本語(入門から初級)の修得を目的とする。講師は、日本語ボランティア講師(TIVONA の会)が担当している。

クラス:カピオ 6 クラス, イノベーションプラザ 3 クラス

期 間:4 月～9 月, 10 月～3 月

授業数:カピオ 各期 20 回 1 回 1.5 時間(合計 30 時間)

イノベーションプラザ 各期 16 回 1 回 2 時間(合計 32 時間)

定 員:各クラス 15 名

②日本語ボランティア講師入門講座

①の日本語講座で講師をするボランティアを養成する。

回 数:年 1 回(5 日間程度)

③こども日本語指導者研修会(新規)

近年、つくば市に居住する外国人世帯が増加するに傾向にあり、外国にルーツを持つ児童生徒に対する日本語教育の重要性が増している。筑波学院大学や教育委員会と連携して、こどもに対する日本語の指導方法を検討実践する。

・体制構築:こども日本語支援協議会設置の検討(教育委員会, 大学, つくば市, 協会など)

・人材育成:こども日本語指導者研修会(筑波学院大学共催)

回 数:年 1 回(6 日間程度:座学及び実習)

※研修後にボランティア登録する。

2 医療通訳ボランティア派遣・研修

市内在住外国人が病院で安心して受診できるように、患者の母語で通訳を行うことを目的とする。また、患者は周辺市町村から市内病院で受診するなど市町村を越えて移動するため、つくば市役所及び近隣市町村国際担当部局並びに同国際交流協会と連携できるよう検討する。

派 遣:随時(病院からの申請による)

派遣先:市内, 周辺市町村の病院, クリニック等

対応言語:英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語

3 外国人のための相談室

在住外国人の様々な相談を受け、その解決又は、より相応しい相談機関を案内することを目的とする。相談員は、研修会などにも参加し対応力の向上を図る。

実施日:毎週水曜日(祝日休)

時 間:9時～16時(英語), 10時～13時(中国語)

場 所:協会事務所内

	4 外国人高校進学相談会 外国にルーツを持つ人児童生徒及び保護者にとって、学校に関わる様々なトピック(日本語, 進学など)は悩みの種となりやすい。とりわけ進学においてトラブルを抱える外国人世帯は数多い。「高校とはなにか?」「試験はどのようなシステムか?」などに関するガイダンスをおこなうことで、外国人親子のサポートを行う。情報提供等を通して外国人児童生徒のキャリア形成に関するフォローを行う。 また、県内外支援団体との情報共有を行い知識の蓄積を図るため、研修会等へも積極的に参加する。 回 数:1回 7月頃
	5 メディカル英会話講座 外国人患者が病院に受診する際に、受付から診療まで英語でスムーズな対応ができるように、基本的な話し方、用語などを習得すること、医療通訳ボランティアの派遣制度を周知することを目的とする。 回 数:年1回(冬期) 場 所:つくば市内 対 象:病院・クリニックの受付事務担当者, 看護師, 医師など医療従事者
B 文化交流事業(対象:日本人・外国人)	
	1 フェスティバル 世界の舞踊や歌の披露, 料理実演販売, 国際理解プログラム 協会事業に協力いただく団体または市内活動団体を優先的に募集し, 協会見本市の原型を演出し, 市民に対して協会事業の周知を図ることを目的とする。 実施時期:5月13日, 14日(予定) 募集团体:飲食・物販・団体紹介など25団体, ステージ10団体程度
	2 文化交流(Bivi 講座, 日本・外国文化体験など) つくばを中心に居住する外国人が, 母国やその周辺で起こっていることをつくばに伝え, または課題を共有し, 日本またはつくばから何ができるのかなど, 講演者と聴講者との間で議論し, お互いを知り, 理解し, 交流する場とすることを目的に行う。その他, 協会以外の国際交流グループと連携して, 日本・外国文化体験講座なども行う。 タイトル:Bivi 講座(世界お茶のみ話) 開催日:毎月第3土曜日 15:45~17:15(予定) 場所:Bivi つくば 交流サロン
	3 姉妹友好都市交流 韓国大田市から青少年(中学生)を迎える。平成28年度にホームステイした青少年を中心につくばに訪れる。日本家庭にホームステイするほか, 日本文化・科学体験を通して, 日韓の相互理解を図る。 タイトル:2017 日韓青少年交流事業 期日:平成29年8月24日(木)~29日(日)(予定) 場所:つくば市開催
	4 英語スピーチ・プレゼンテーション大会 英語学習初心者が, 留学生と交流しながら原稿を作成し, 発表する事により語学に関心を持ったり, 外国の文化に興味を持ったりすることを目的として開

	催する。(筑波大学共催事業) 回 数:年 1 回(11月～12月頃) 対 象:市内中高生
	5 英語観光ガイド 海外や他地域からつくばを訪問する外国人に対して、市内の観光スポットの紹介ができるボランティアの育成を目的とする。 回 数:年1回(6 日間程度)
	6 通訳・翻訳・ホームステイ・文化紹介 市民・留学生・JICA 研修員などの依頼者に対して、通訳やホームステイ等の支援を行う。また、市内小学校・幼稚園・保育所、特別支援学校などで開催される国際交流イベントなどに外国人を派遣する。 時 期:随時
	7 シティ・チャット・カフェ 英語で在住外国人との交流を目的として開催する。筑波研究学園都市交流協議会及び筑波大学と共催 回 数:12 回(毎月 1 回開催。うち協会は 4 回担当) 場所:ララガーデンつくば
C 情報収集・周知・ニーズ調査事業(対象:外国人・日本人)	
	1 ホームページ・facebook・Link!発行・ニーズ調査(座談会) 外国人・または日本人が、国際交流協会に何を求めているのか、協会の進むべき方向を検討する指針とするために座談会形式で継続して行う。また、協会事業などの情報をホームページや facebook, Link!(機関誌)などを通じて周知する。
	2 賛助会員募集 協会を資金面から支援いただくために募集を行う。 個人会員 一口 2, 000円／年度 団体会員 一口10, 000円／年度 法人会員 一口20, 000円／年度

旅券発給支援事業

D 旅券発給支援に関する事業(対象:日本人) つくば市パスポートセンター支援のため、写真撮影、印紙・証紙、葉書、切手等の販売を行う。 営業日:月曜～金曜日(土日祝, 12 月 29 日～1 月 3 日休み) 時間:午前 8 時 30 分～午後 5 時

平成 29 年度収支予算

自:平成 29 年 4 月 1 日

至:平成 30 年 3 月 31 日

一般財団法人つくば市国際交流協会

平成29年度収支予算書（資金収支計算ベース）
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

（単位：千円）

科目	当年度	前年度	増減
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
①基本財産運用収入	5	5	0
基本財産利息収入	5	5	0
②事業収入	144,360	144,760	△ 400
旅券発給支援に関する事業収入	144,360	144,760	△ 400
③補助金等収入	34,000	34,000	0
地方公共団体補助金収入	34,000	34,000	0
④負担金収入	2,571	4,483	△ 1,912
受取負担金収入	2,571	4,483	△ 1,912
⑤会費収入	970	970	0
賛助会会費収入	970	970	0
⑥雑収入	16	16	0
受取利息収入	6	6	0
雑収入	10	10	0
事業活動収入計	181,922	184,234	△ 2,312
2 事業活動支出			
①事業費支出	165,190	166,646	△ 1,456
国際交流事業支出	23,201	24,609	△ 1,408
給与（職員・臨時職員）	15,697	14,565	1,132
事業費支出	7,504	10,044	△ 2,540
旅券発給支援に関する事業支出	141,989	142,037	△ 48
②管理費支出	15,121	14,325	796
人件費支出	8,963	8,459	504
本部運営費支出	6,158	5,866	292
事業活動支出計	180,311	180,971	△ 660
事業活動収支差額	1,611	3,263	△ 1,652
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2 投資活動支出の部			
特定資産取得支出	468	292	176
退職給付引当資産取得支出	468	292	176
投資活動支出計	468	292	176
投資活動収支差額	△ 468	△ 292	△ 176
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2 財務活動支出			
借入金返済支出	1,000	1,000	0
短期借入金返済支出	1,000	1,000	0
財務活動支出計	1,000	1,000	0
財務活動収支差額	△ 1,000	△ 1,000	0
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	143	1,971	△ 1,828
前期繰越収支差額	19,391	17,420	1,971
次期繰越収支差額	19,534	19,391	143

（注）1 借入金限度額 10,000,000円